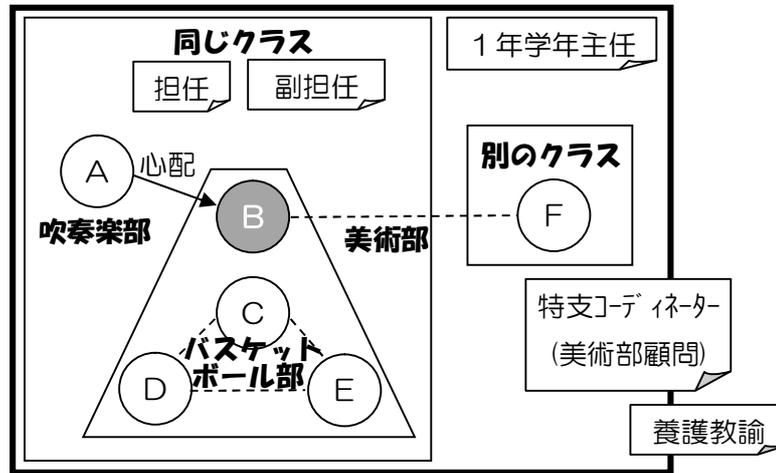


きっかけ：12月、Aの母から担任に入電→A：Bが“同じクラスの女子グループの中でいじめられている”

〈関係図〉 ○：関係生徒、 □：関係教員



※以下、【 情報提供者 情報内容 】を示す（『 』はB、「 」は関係生徒、“ ”はその他の言葉）

(1) Bに対する影響

- ・ 担任 遠足（9月）：BはCと同じ班になった→遠足後はB、C、D、Eの4人グループで行動
- ・ 養護教諭 （Aからの話）居残り中：C、D、Eの3人→B
「トロ子（Eがつけた）ってホントにトロいんじゃない」「こんな問題解けない…終わってる」
「顔がイマイチ…頭もよくなかったら、私だったらつらいわ」などと言っている
- ・ 副担任 給食中：C、D、E→Bの皿に給食を多く載せていた
Bに食べられるのか確認→Cが「Bの好物」と答え、Bは苦笑いしてそそくさと自席へ移動
- ・ 副担任 教室移動中：Bが数人の荷物を一人で持つ→C：「私たちはイツメン」「お互いにやっている」
C：顔を見合わせる→B：うなづく
- ・ 副担任 B応援旗の制作：Cと一部の男子が作品を指さし、大笑い（Bは気付いていない）
E…Bと同じ応援旗の制作担当→後半は「家の用事」でBに任せて帰ってしまった
- ・ 学年主任 数学の授業中（クラスが分割され、BとCは同じ教室） CがBに何かを話しかけていた
Cは「教えてもらってるだけ」と居直り、Bは『特に何もありません』と答えるだけ

【その他の情報】

- ・**学年主任** (A、D、Eの担当教員の話) 数学の授業中：Aを指名するとDとEはコソコソと話しながら笑う
- ・**養護教諭** Aの保健室利用が増えた→体調不良 (A：「クラスの雰囲気が嫌だ」)
給食時：AがBのグループを注意→C：「何、いい子ぶってるの」→Aは何も言えない
- ・**養護教諭** Eの保健室利用が増えた→バスケットボール部を辞めたいと悩んでいた
理由：同じ部活動でのCとの関わり (しばらくして解消→来室もなくなった)

(2) Bの様子や状況

- ・**担任** (小学生時代から) 欠席・遅刻はほとんどない→10月：月曜日の遅刻増、11月：欠席増
- ・**学年主任** B：友人関係について『一緒にいてくれる友達がいる』『それなりにうまくやっている』と話す
- ・**養護教諭** B：友人に付き添って保健室に来る
何度か独りで保健室前をうろうろ…声をかけると『お腹が痛かったけど、大丈夫』と教室に戻った
- ・**特別支援** (Fからの話) 4月：B『かわいい子がいる』(Cのこと) 9月遠足後：C→B「一緒に帰ろう」
Bの様子：Cとこのことをうれしそうに話した→次第にCのグループの話題が減った

(3) その後の情報

● Bの気持ち

『私はCさんたちみたいな明るい子と友達になれたらいいと思っていた…仲間に入れてもらえてうれしい』
『私は運動も勉強もできないから、トロ子と言われても仕方ない…ノリに合わせられない私が悪い』
『友達でいるには、少しくらい嫌だと思っても、合わせるべきなんだと思う』
『お母さんは弟のことで大変そうだから、私の友達関係のことで心配かけたくない』

● Bの母の話 (担任による家庭連絡)

- ・小学6年生 (支援級) の弟の進学について悩む → 担任に弟の不安を話した
- ・小学校：あまり友達もいなかった (“中学も心配”) → 中学校：『友達ができた』と報告があり安心
- ・最近のBについては“変わった様子はないと思う”

● Cの状況 (バスケットボール部顧問の話)

- ・1年生唯一の経験者 (レギュラー) → 先輩からの厳しい対応を受けていた
- ・1年生のまとめ役 C：勝ちたい (少し強引な指導) ⇔ 他の1年生部員：楽しくやりたい

同学年での意見の相違がある (部活中、他の1年部員はCに対して何も言えない)

● クラスメイトの雰囲気：Bは“グループに不釣り合い”→笑いながらCたちと一緒に居る (Bのキャラと認識)